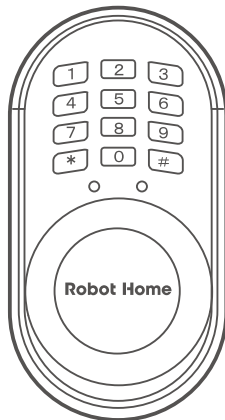


Robot Home

KLCK-001

Learning SMART LOCK Installation Guide To Customer



取扱説明書

■ご使用前に

本製品を正しくご使用して頂くために、ご使用前にこの説明書をよくお読みください。

お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立てください。

※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。

※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

※当社では常に製品の品質改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございませうがご了承ください。

※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。

※本書記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

はじめに	3
セット内容	3
ご使用前におことわり	4
本製品について	6
解錠の方法	6
施錠の方法	6
機能	7
安全上のご注意	8
使用上のご注意	12
各部名称	14
最初に行うこと①	
マスターカード削除～登録	15
最初に行うこと②	
暗証番号登録	17
本製品の操作方法	
ユーザーカード登録	18
ユーザーカードの削除	19
各機能の設定	
オートロックの設定	21
マナーモードの設定	22

本製品の操作方法

各機能の設定

電池交換お知らせ機能	23
非常電源供給端子からの電源供給	23
非常電源供給端子からのリセット	24
警報機能	24
基本操作	25
「kitアプリ」での使用	27
主な仕様	29
取付可能な錠ケース	30
お問い合わせ	31

はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。

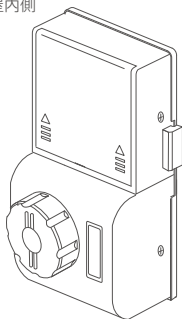
■ セット内容

本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。

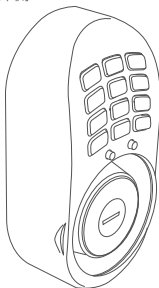
※イラストと実際の形状は、変更になったり、若干異なる場合があります。

スマートロック本体

屋内側



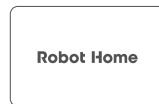
屋外側



キーシリンダー
目隠し用キャップ



マスターカード
(ICカード)



■ ご使用の前のおことわり

- 緊急時や不測の事態に備え、必ずシリンダーの鍵は、非常解錠できる場所に保管してください。
- 乾電池は、新品の単3アルカリ乾電池（国内品推奨）をご使用ください。その他の乾電池や、古い電池、種類の違う電池を混ぜたりして使用しますと、電池寿命が短くなったり、液漏れによる故障の原因となる恐れがあります。
- 電池のトラブルを避けるため、年に1回程度の電池交換をお勧めします。また、電池を入れたまま放置すると液漏れの原因となりますので、最低でも月に1~2回程度の解錠動作確認をお勧めします。
- 落としたり、ハンマーなどで無理な衝撃を与えたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- 登録したIC（ICカードやスマートフォン）を紛失しないでください。万が一紛失した場合は、登録を抹消して新しいICを登録してください。紛失したICによる損害は当社では責任を負いかねます。入室できない場合は、従来の鍵で解錠してください。鍵を携帯していない場合は、鍵の専門業者による解錠をお勧めします。賃貸住宅設備の場合は、管理会社、又はオーナーに相談してください。
- オートロック機能を使用する場合も、必ず施錠確認をしてください。未施錠で発生した損害は当社では責任を負いかねます。また、オートロックによる「閉め出し」にご注意ください。
- 操作ボタンや、センサー部分を乱暴に操作しないでください。
- 清掃の際、本体に直接水をかけたり、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。感電や火災故障の原因となります。
- 賃貸住宅、分譲マンションなど集合住宅で使用する場合は、入居規約や管理組合規約をよく確認し、ルールに従ってください。

■ ご使用の前のおことわり

- 鉄道等交通機関で発行されるカードを登録ICとして利用される場合は、料金のチャージや利用期間の更新などで新しいカードに入れ替わる場合があります。複数のカードをご登録頂き、携帯することをお勧めします。また、韓国国内で使用されている交通機関のICカードやスマートフォンは登録しないでください。同一IDが複数存在しますので解錠される恐れがあります。おサイフケータイを使用する場合は、自動ファームアップにより使用できなくなる場合があります。おサイフケータイ以外にも登録済みICカードを携帯することをお勧めします。
- 登録したICカードを曲げたり、穴をあけたり、高温になる場所に放置しないでください。破損し使用できなくなる場合があります。
- AC電源からの電源駆動でご使用になる場合は、電池を入れたままでもご使用になれますが、自然放電や液漏れなどをおこす場合があります。電池が原因による不具合は、保証対象外となりますので、定期的に点検してください。
- 本製品の分解や改造は絶対にしないでください。故障や動作不良の原因となります。
- 高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 結露が激しい場所では使用しないでください。
- 湿気やほこり、油煙が多い場所では使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 本製品は日本国内でのみご利用いただけます。海外ではご使用いただけません。

はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。

■ 本製品について

- 本製品は、株式会社シーズンテック製のマネジメントロックに「スマホ解錠」機能を追加した画期的な電気錠です。「kitアプリ」から操作して、Bluetooth無線が届く数メートル離れた場所から解錠することができます。豊富な解錠方法を組み合わせてシチュエーションに応じた柔軟な入室管理が可能になります。

1. 解錠の方法

- IC カードで解錠できます（マスターカード5 枚、ユーザカード300 枚）。
- 任意暗証番号（固定番号）で解錠できます。
- IC カードと暗証番号の二重認証させないと解錠できない、デュアル認証登録ができます。
- Bluetooth を使った無線解錠が可能です（別途、サービス事業者提供のアプリケーションが必要）。
- 既存のシリンダー用の鍵で解錠することができます。

2. 施錠の方法

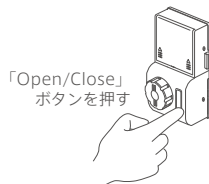
●外出時

部屋の外からドアを閉めて、いずれかの「テンキー」を押すと施錠します。（オートロック設定時は、ドアを閉めると1秒後に自動施錠します）



●入室時

部屋の中からドアを閉めて、「Open / Close」ボタンを押すと施錠します。（オートロック設定時は、ドアを閉めると1秒後に自動施錠します）



■ 本製品について

3. 機能

●Bluetooth 機能を搭載

「kitアプリ」から解錠操作を行うことができます。

●マルチリーダーを搭載

ISO14443A、ISO15693、ISO18092 の国際基準に準拠したマイフェアカードやフェリカカード、ICORD などのIC カードが登録できます。

※IC カードの品質によっては登録できないものもあります。また、おサイフケータイの中には登録できない機種もあります。感度の良いICをご使用ください。

●オートロック機能

オートロック機能を使用すると、ドアが閉まれば自動施錠します。オートロック機能はOFF にすることもできます。

●マナーモード機能

IC カードの認証音や操作音を消すことができます。起動音、警報アラームやエラー音は停止しません。

●不正解錠警報機能

バルコじあけなど不正な解錠が発生した場合、100 dB 以上の大音響でブザーが鳴ります。

●非常電源供給機能及び外部リセット機能

非常電源供給端子を使用して、電池切れのときの緊急解錠ができます。また、同端子を使用し、万一機器がフリーズした場合のリセットを外部から行うことができます。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。

※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。



禁止

指示する行為の強制
(必ずしなければならないこと)



水ぬれ
禁止

指示する行為の強制
(必ずしなければならないこと)



分解禁止

指示する行為の強制
(必ずしなければならないこと)



指示

指示する行為の強制
(必ずしなければならないこと)

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

警告



分解禁止

- 電池交換以外の、修理、改造、分解をしないでください。異常動作・故障・火災や感電の原因となります。点検や調整、修理はサポートセンターにご依頼ください。



水ぬれ
禁止

- 本製品へ故意に水をかけたりしないでください。防滴加工を施しておりますが水が浸入すると感電や、火災、故障の原因となります。
- 高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 結露が激しい場所では使用しないでください。



禁止

- 湿気やほこり、油煙が多い場所では使用しないでください。火災や感電の原因となります。



禁止

- 本製品は日本国内でのみご利用いただけます。海外ではご使用いただけません。



禁止

- 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息したり、けがの原因となることがあります。



禁止

- 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となるおそれがあります。



禁止

- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触した場合、火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

警告



指示

- 電池が液漏れしたり、変色、変形その他の異常があった場合は、ただちに使用を中止してください。電池から漏れた液体が皮膚や服についた場合は、ただちに水で洗浄してください。万一、液体が目に入ってしまった場合には、ただちに大量の水で洗浄し、医師に相談してください。



禁止

- 電池が破損し、液漏れした場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液が目や口に入った場合には、ただちにきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、ただちにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。



禁止

- 下記の場所で使用・放置しないでください。本製品の故障、感電、火災などの原因となります。また、部品の劣化や破損の原因となります。
 - ・ストーブのそば、炎天下の車内など、温度の高い場所
 - ・高温多湿の環境、油煙、ホコリの多い場所
 - ・押し入れや箱の中など、風通しの悪い場所

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

⚠ 注意



禁止

- 本製品の上に物を載せたり、本来の目的以外に使用しないでください。ケガや故障の原因になります。



禁止

- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。



禁止

- 本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



指示

- 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。
- お使いになる方によっては、ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、ただちに使用を中止して医師の診断を受けてください。



指示

- 本機に付いたほこりは、乾いた布で拭きとってください。火災や感電の原因となります。
- 電池が発熱、液漏れ、破裂する恐れがあるため、下記の事にご注意ください。
 - ・電池の⊕⊖方向を正しく入れてください。
 - ・お手入れのときや長期間使用しないときは、本機から電池を抜いてください。
 - ・電池は充電しないでください。
- 電池がうまく差し込めないときは、電池の形や向きを確認してから差し込んでください。無理に差し込むと故障や破損の原因となります。
- 水などの液体が入った場合は、ただちに電池を本機から抜いてください。火災や感電の原因となります。
- 電池カバーは確実に閉めてください。不完全ですと、ほこりが付着して火災や感電の原因となります。

使用上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

■ 電波法/電気通信事業法に関するご注意

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。
- 本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」を取得しております。
- 本製品を分解して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効になった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

■ 電波干渉に関するご注意

- 本製品の使用する周波数帯では電子レンジ等の産業、科学、医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。本製品の使用前には、近くに上記に該当する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万が一、本製品と上記に該当する他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の使用を停止してください。

■ 電波障害に関するご注意

- 本製品は一般的な屋内の環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 正しく取り扱っても、電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、以下にご注意ください。
 - ・本製品をラジオ、テレビから十分に離してください。
 - ・ケーブルは付属のものを使用してください。

使用上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

■ 制限事項

- 海外でご使用の場合、その国の電波法に適合または認証を取得していることをご確認の上ご使用下さい。
- 本製品使用により生じた損害につきましては、一切責任を負いませんので予めご了承下さい。
- 本書の内容は、改良の為予告なしに変更することがありますので予めご了承下さい。

■ 商標・著作権・ライセンス

- Robot Home ロゴは 株式会社Robot Home の商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。

各部名称

ICマルチリーダー部

IC受信エリア

ICカードをかざすエリア

起動キー

本製品の電源を起動させるキー
※いずれかのテンキーを押します。

非常電源供給端子

電池切れ時、緊急解錠させる端子

デブスイッチ



スイッチ番号	①	②
1: オートロック ^{※1}	OFF	ON
2:	動作保障できないため使用しない	
3: マナーモード ^{※2}	OFF	ON
4:	動作保障できないため使用しない	
5:	動作保障できないため使用しない	
6:	動作保障できないため使用しない	
7: ブルートゥース	ON	OFF
8: -	使用しない	使用しない

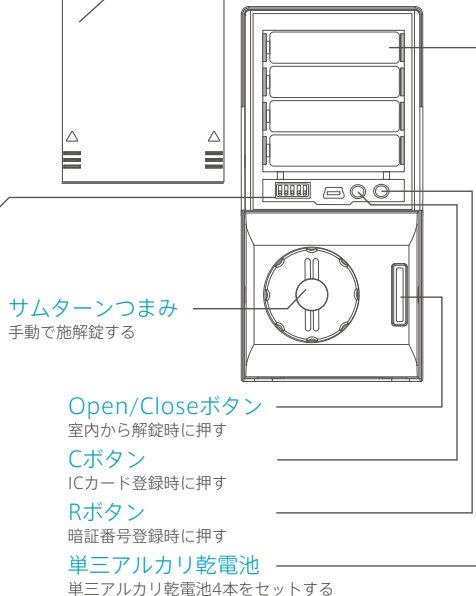
※1: 不意な施錠にご注意ください。施錠方法をお忘れになると解錠することができません。

※2: マナーモードは、動作音の入り切りのみです。ONでも警報は鳴ります。

電動サムターン本体

電源ユニットカバー

電池や操作ボタンを保護するフタ



サムターンつまみ

手動で施解錠する

Open/Closeボタン

室内から解錠時に押す

Cボタン

ICカード登録時に押す

Rボタン

暗証番号登録時に押す

単三アルカリ乾電池

単三アルカリ乾電池4本をセットする

最初に行くこと①

■ マスターカード削除～登録

 登録・削除はドアを開けた状態で行います。

1. マスターカードを削除する

マスターカードは登録済みです。万一のトラブル防止のため、お客様ご自身で登録済みマスターカードの削除を行ってください。削除後、再度マスターカード登録を行ってください。

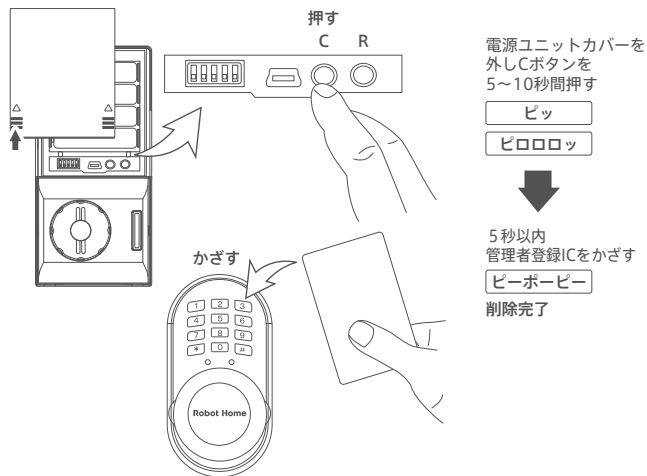
削除手順

手順1 Cボタンを5～10秒間押す

電源ユニットカバーを外して、Cボタンを指先で5秒以上長押しします。Cボタンを押すと（ピッ）と鳴り、5秒後には（ピロロロッ）と確認音になったら押すのをやめます。

手順2 マスターカードをかざす

ICマルチリーダーテンキー部に用意したマスターカードを5秒以内にかざすと（ピーポーピー）と確認音が鳴り登録されていたマスターカード全てが削除されます。



最初に行うこと①

■ マスターカード削除～登録

 登録・削除はドアを開けた状態で行います。

2. マスターカードを登録する

マスターカード削除後、必ずマスターカードを登録してください。

登録手順

マスターカードとして登録したいICカードを準備します。

手順1 Cボタンを2回押す

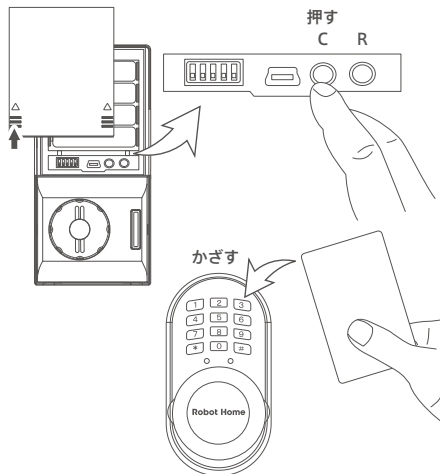
電源ユニットカバーを外して、Cボタンを指先で2回押します。1回押すと（ビッ）と鳴ります。

手順2 ICカードをかざす

ICマルチリーダーのテンキ一部にICカードをかざすと（ビッポッ）と確認音が鳴り登録されます。複数枚登録する場合は続けてかざしてください。（前の登録から5秒以内にかざす）

手順3 Cボタンを1回押すと登録完了

手順2のあと5秒放置しても自動的に登録が完了します。放置した場合は（ビッ）と鳴ります。



電源ユニットカバーを外しCボタンを2回押す

ビッ
ピロロロッ

5秒以内に登録するICをかざす

ビッポッ

複数登録する場合
続けてICをかざす
登録間隔5秒以内

ビッポッ

Cボタンを1回押す

ビーボービー

登録完了

最初に行くこと②

■ 暗証番号登録

! 登録・削除はドアを開けた状態で行います。

暗証番号を登録する

暗証番号は2～5桁の任意の番号で設定します。

暗証番号登録後の変更はできません。 変更する場合は、「p15.マスターカードを削除する」の手順に従い、マスターカードを削除し、再登録してから暗証番号登録をしてください。

登録手順



あらかじめ、登録する全ての番号を用意しておくこととスムーズです。

手順1 R ボタンを2回押す

電源ユニットカバーを外して、R ボタンを指先で2回押します。1回押す毎に（ビッ）と鳴ります。

手順2 マスターカードをかざす

5秒以内にICマルチリーダーのテンキー部に、マスターカードをかざすと（ビーポービー）と確認音が鳴ります。

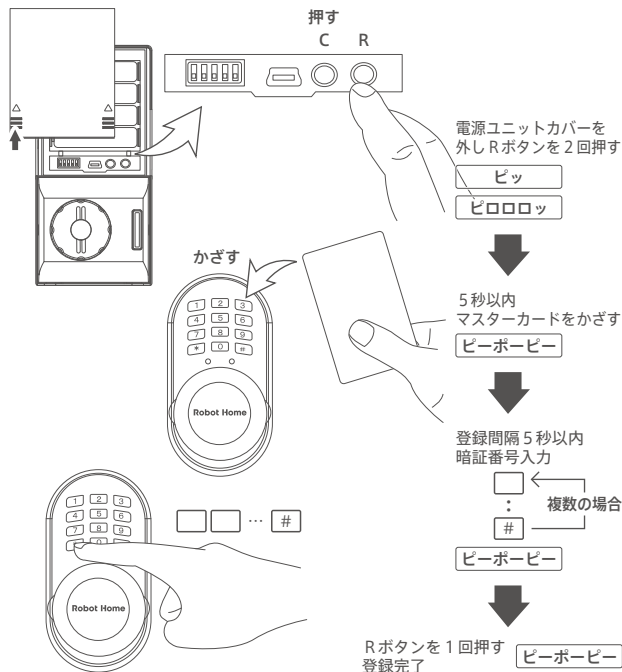
注）（ビービー）と拒否音が鳴った場合、ICカードがマスターカードではありません。

手順3 暗証番号を入力

2～5桁の任意の暗証番号を入力した後、[#] キーを押すと（ビーポービー）と鳴ります。

※複数登録する場合は、続けて暗証番号+[#] を繰り返します。

手順4 R ボタンを1回押す



本製品の操作方法

■ ユーザーカード登録

! 登録・削除はドアを開けた状態で行います。

NFC等のICカードを登録する

管理会社や、会社から提供されたICカードや個人所有のICカードなど、解錠キーとして使用したいICカードを準備します。
(Max 300枚まで登録可能)

※ICカードの規格や品質によっては登録できない場合があります。テンキー部の * キーを押してからIC受信エリアに登録したいICカードをかざしてください。「ピーピーピー」と拒否音が鳴れば登録可能なICカードです。登録できないカードは何も反応しません。

登録手順 ※300種類のICを3桁のブロック番号を指定して登録します。

手順1 Cボタンを1回押す

電源ユニットカバーを外して、Cボタンを指先で1回押します。1回押すと（ビッ）と鳴ります。

手順2 マスターカードをかざす

ICマルチリーダーのテンキー部にマスターカードをかざすと（ピーピー）と鳴ります。※マスターカードをかざした時、（ピーピー）と拒否音がした場合は、そのICがマスターではない、もしくは、電池残量が少ない時です。

手順3 3桁の数字+ #を入力

ブロックとなる3桁の数字を入力して # を入力すると（ビポッ）と鳴ります。※ブロック数字は、自由に設定できます。1つのブロックには1枚のICカードしか登録できません。使用したブロック番号は、記録を残してください。削除の際、必要になります。

手順4 ICカードをかざす

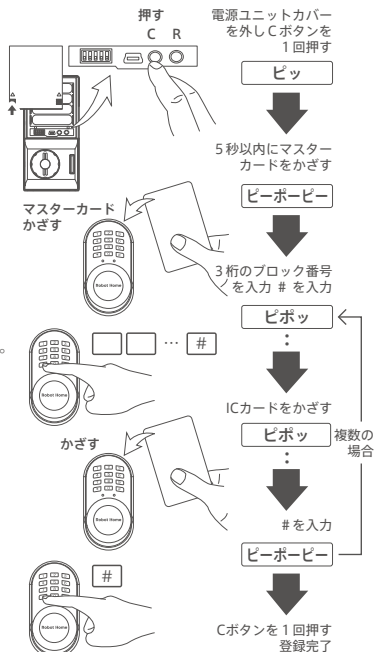
ICマルチリーダーのテンキー部に登録するユーザーカードをかざすと（ビポッ）と鳴ります。

手順5 #を入力

#を入力すると（ピーピー）と鳴ります。複数枚登録する場合は、手順3、4、5を繰り返します。

手順6 Cボタンを1回押す

Cボタンを押すと終了します。または5秒間放置すれば終了します。



本製品の操作方法

■ ユーザーカードの削除

! 登録・削除はドアを開けた状態で行います。

1. ICカードを個別削除する

登録したユーザーカードのブロック番号を指定することで、個別削除することができます。但し、ブロック番号が分からない場合は、削除できませんのでご注意ください。

※連続削除はできません

削除手順

手順1 Cボタンを1回押す

電源ユニットカバーを外して、Cボタンを指先で1回押します。1回押すと（ピッ）と鳴ります。

手順2 マスターカードをかざす

ICマルチリーダーのテンキー部にマスターカードをかざすと（ピーポーピー）と鳴ります。

手順3 Cボタンを1回押す

電源ユニットカバーを外して、Cボタンを指先で1回押します。1回押すと（ピポッ）と鳴ります。

手順4 ブロック3桁の数字+ [#] を入力

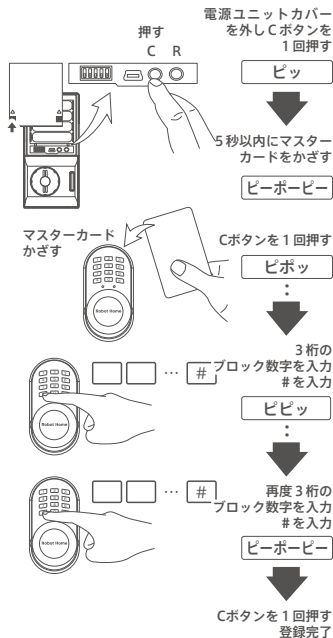
削除したいカードが登録されているブロック番号を入力して、[#] を入力すると（ピビッ）と鳴ります。

手順5 ブロック3桁の数字+ [#] を入力

再度ブロック番号と [#] を入力すると（ピーポーピー）と鳴り削除されます。

手順6 Cボタンを1回押す

Cボタンを押すと終了します。または5秒間放置すれば終了します。



本製品の操作方法

■ ユーザーカードの削除

 登録・削除はドアを開けた状態で行います。

2. ICカードを全部削除する

削除手順

手順1 Cボタンを1回押す

電源ユニットカバーを外して、Cボタンを指先で1回押します。1回押すと（ビッ）と鳴ります。

手順2 Rボタンを1回押す

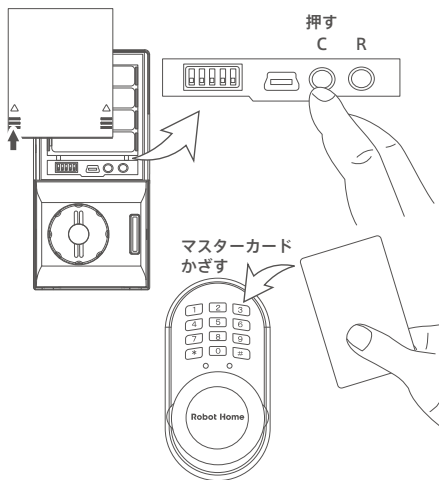
Rボタンを指先で押します。1回押すと（ビッ）と鳴ります。

手順3 Cボタンを1回押す

Cボタンを指先で押します。1回押すと（ビッ）と鳴ります。

手順4 マスターカードをかざす

ICマルチリーダーのテンキー部にマスターカードをかざすと（ビーポービー）と鳴り、ユーザーカード全てが削除されます。



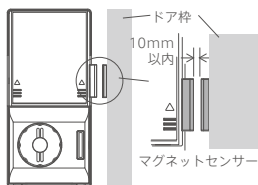
本製品の操作方法

■ 各機能の設定

1. オートロックの設定

オートロック機能は、ドアを閉めると約1秒後に自動施錠する機能で、外出時に鍵の閉め忘れを防ぎます。初期設定では、オートロック機能が作動しない設定になっています。

オートロック機能の設定の前に、電動サムターン本体の電源ユニット横のセンサーとドア枠のマグネットが正しく装着されているか確認してください。センサーとマグネットの隙間が規定値（右図参照）より広いと正しく作動しない場合があります。



手順1 乾電池を1本外す

電源ユニットカバーを外して、4本セットした単三乾電池を1本外します。
※常時電源の場合は、電源OFFにしてください。通電したままディップスイッチを変更しても設定変更されません。

手順2 ディップスイッチの1番スイッチを②にする

電源ユニットにあるディップスイッチの1番スイッチを精密ドライバーやペン先で②の位置に変更します。スイッチが小さいので間違えないよう注意してください。

手順3 Open/Closeボタンを2回押す

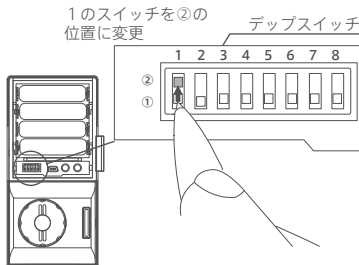
回路内の待機電力を消費し、リセットします。

手順4 乾電池をセットする

外した単三乾電池を再度セットし起動させれば設定完了です。電池の極性を間違えないよう注意してください

マニュアル運用のときは、オートロックは作動しませんので外出の際は、テンキーの起動キーを押して施錠してください。入室後は、Open/Closeボタンで施錠してください。

※マニュアルモードでも、解錠してドアを開けない場合は、約7秒後に自動施錠します。



本製品の操作方法

■ 各機能の設定

2. マナーモードの設定



起動音、警報アラームやエラー音は停止しません。

マナーモードは、操作時に発生する認証音や確認音を停止させる機能です。初期設定では確認音が鳴る設定になっております。住環境やオフィスなど作動時の確認音が気になる場合に設定します。

手順1 乾電池を1本外す

電源ユニットカバーを外して、4本セットしてある単三乾電池を1本外します。
※常時電源の場合は電源をOFFにしてください。通電したままディップスイッチを変更しても設定変更されません。

手順2 ディップスイッチの3番スイッチを②にする

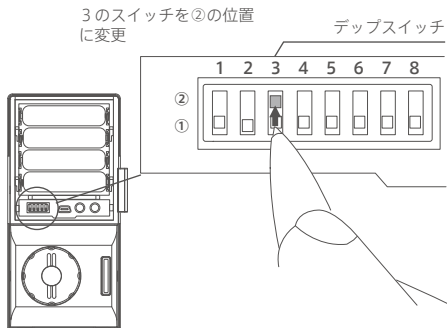
電源ユニットにあるディップスイッチの3番スイッチを精密ドライバーやペン先で②の位置に変更します。スイッチが小さいので間違えないよう注意してください。

手順3 Open/Closeボタンを2回押す

回路内の待機電力を消費し、リセットします。

手順4 乾電池をセットする

外した単三乾電池を再度セットし起動させれば設定完了です。電池の極性を間違えないよう注意してください。



本製品の操作方法

■ 各機能の設定

3. 電池交換お知らせ機能

電池交換お知らせ機能の設定は不要です。電池が消耗するとOpen/CloseボタンのLEDが点滅し、メロディアラームでお知らせします。

※電池交換お知らせ機能が作動しても、約300回程度は使用可能です。しかし、カードの登録機能などが正常に動作しない場合がありますので、お早目に4本全部を同時に新品のアルカリ乾電池と交換してください。電池交換する時はOpen/Closeボタンを3回押して、待機電流をリセットしてから投入してください。

4. 非常電源供給端子からの電源供給

非常電源供給端子は、万が一、電池が切れて本製品が駆動しなくなった場合、一時的に電源を供給し解錠ができるようにする機能です。

操作手順

操作の前に、電気店もしくは、コンビニなどで「006 P角型9Vアルカリ乾電池」をお買い求めください。

手順1 リーダー部に電池の電極を接触

ICマルチリーダー部のシリンダーキャップ上にある非常電源供給端子に006 P角型9V乾電池を接触すると、室内側より起動音が聞こえてきます。

※十一関係なく使用できます。

手順2 **[#]**キーを押す

電池を接触したまま、ICマルチリーダーテンキー部の**[#]**キーを押すと（ピッ）と確認音が鳴ります。

手順3 登録済みICカードをかざすか、登録済みの暗証番号を入力する

電池を接触したまま、ICマルチリーダーテンキー部に登録済みカードをかざすか、登録済みの暗証番号を入力すると、解錠音が鳴り解錠できます。

※解錠できたら、直ちに電動サムターン本体のアルカリ単三乾電池を4本とも交換してください。



端子に電池を接続する

起動メロディ

接続したまま
[#]キーを押す

ピッ
登録完了

5秒以内
登録済みICをかざす
または、
暗証番号を入力する

ピッ
解錠

本製品の操作方法

■ 各機能の設定

5. 非常電源供給端子からのリセット

万一、外部からのノイズや静電気の影響で機能停止状態（フリーズ）となった場合は、非常電源供給端子から、電源を供給することで、外部からリセットすることができます。

操作手順

- 手順1** ドアを開ける
(開けたまま保持する)

Open/Closeボタンを押してドアをあけます。

※+-関係なく接触できます。



6. 警報機能

パールのこじ開けなど防犯対策のため、100dB以上の大音量で警報音を鳴らす機能を搭載しております。但し、不慮のマグネット脱落、解錠動作が完了する前にドアを開ける行為、閉まりかけたドアを急に開けたりした場合にも警報が鳴る場合があります。

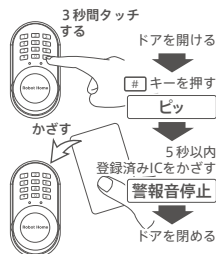
※停止操作は、ドアが開いた状態&警報が鳴っている状態でおこなってください。

停止手順

- 手順1** ドアを開ける
(開けたまま保持する)

- 手順2** # キーを押す
起動キーを押すと（ピッ）と確認音が鳴ります。

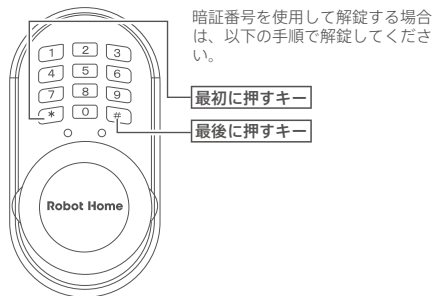
- 手順3** 登録済みカードをかざす
リーダーテンキー部に登録済みカードをかざすと警報音が停止します。



本製品の操作方法

■ 基本操作

1. 暗証番号による解錠方法

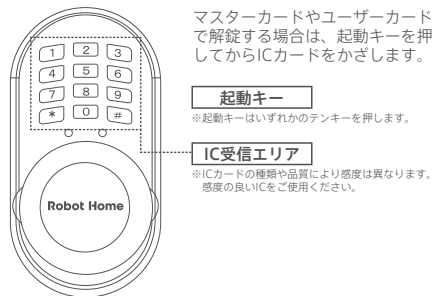


● 暗証番号の場合



※マニュアルモード時は起動キーを押せば施錠します

2. ICカードによる解錠方法



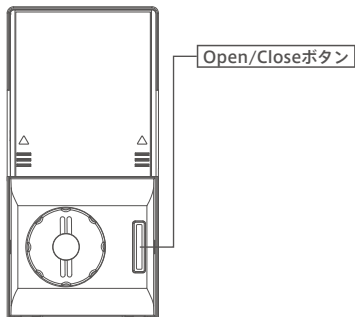
手順1 起動キーを押す

手順2 ICカードをIC受信エリアにかざす

本製品の操作方法

■ 基本操作

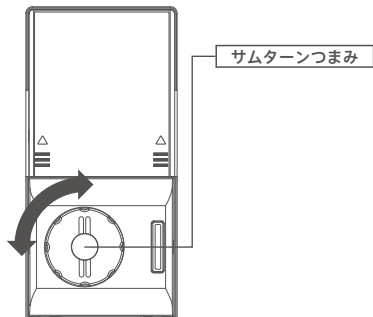
3. 室内からOpen/Closeボタンで解錠する



手順 1 Open/Closeボタンを押す

※マニュアルモードのときは同じ動作で施錠します。

4. サムターンつまみによる解錠・施錠



手順 1 通常のドアにあるサムターン同様に、サムターンつまみを回せば解錠、逆に施錠します。



オートロック未設定時、いづれかのテンキーを押すと施錠されます。



本製品の操作方法

■ 「kitアプリ」での使用

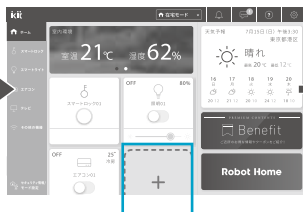
ペアリング（機器への初期登録）を行う

準備1：接続したい機器のBluetooth®機能を有効にして器具に近づける。Bluetooth®機器は器具から約10m以内でお使いください。

①スマートロック本体にマスター暗証番号を設定する。

「p17.暗証番号登録」の項目をご参照ください。マスター暗証番号設定後、テンキーを使って解錠し、マスター暗証番号が正しく設定されていることをご確認ください。

②追加ボタンをタップします。



③スマートロックを選択します。



④名前を入力します。



⑤ペアリングする機器を選びます。



⑥①で登録したマスター暗証番号を入力。



⑦ペアリング完了。



本製品の操作方法

■ 「kitアプリ」での使用

解錠操作を行う

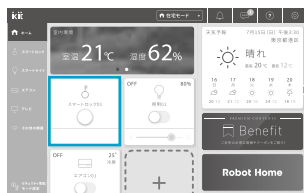
準備1：スマートロックとアプリ側のペアリングが完了していること。（「p27.ペアリング」参照）



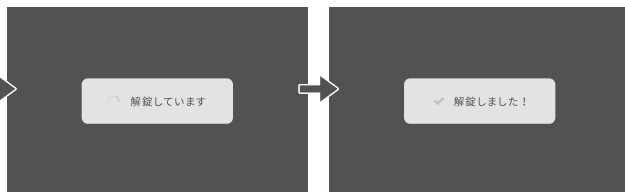
オートロック未設定時、いづれかのテンキーを押すと施錠されます。



① 解錠ボタンをタップ



② 解錠完了



※ご利用のSmart Lock のバージョンにより実際の画面とイメージが異なる場合がございます。

主な仕様

型式	ML1-1205S
電動サムターン本体	65×140×53mm
ICマルチリーダー	55×105×29mm
電源	単三アルカリ乾電池4本（1日10回開閉=約1年） / 006P乾電池（緊急給電用）
電源モード	エコモードON、OFF切り替え方式（ON=起動キーを押すと電源ON、OFF=常時電源ON）
対応IC規格	ISO14443A（マイフェアカード） / ISO15693（I-CORD） / FeliCa
履歴記憶数	3,000件
データ入出力	ミニUSBポート（通信方式=RS232C）=専用端末使用により履歴のダウンロードとIC情報のアップロード
警報装置	100dB以上
作動温度	-10～45℃

■すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

※Bluetoothは米国内におけるBluetooth SIG Inc.の登録商標または商標です。

※その他、記載の会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

主な仕様

■ 取付可能な錠ケース

美和ロック	LA (一級錠)、LAF (鍵デット錠)、BH (専用部品必要) DA、DAF (補助錠) POSTE、LSP、LE、TE、FG (引き戸) PP (デットボルト錠) プッシュプルハンドル POM (ハンドル分離型) プッシュプルハンドル その他、サッシメーカーへのOEM錠
ゴール	LXシリーズ、LGシリーズ、LDシリーズ、その他
シブタニ	クラビス、CDSシリーズ、LCSシリーズ
対応バックセット	38、51、64、76mm
適応ドア厚	30 ~ 60mm ※左記以上のドア厚は、アダプターにより対応可能

■すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

※Bluetoothは米国内におけるBluetooth SIG Inc.の登録商標または商標です。

※その他、記載の会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

お問い合わせ

○アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

製品に関するお問い合わせ先

サポートセンター

☎ 0570-099-120

24時間365日、お電話を受け付けます。

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
- 年末年始などのサポートセンター休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。

※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

Robot Home Co.,Ltd.

Learning SMART LOCK



For more information, visit robothome.co.jp

Company outline

株式会社Robot Home

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-5-8-21F